



実施日：2017年 9月22日（金）＜曇りのち午後から小雨＞

集合：太秦天神川駅前 10:00、参加者：70名

行程：太秦天神川駅 10:05 出発 ⇒ 木嶋(コノマ)神社 10:15 ⇒ 広隆寺 10:50 ここで集合写真
⇒ 太秦映画村 11:40 昼食・班長会 ⇒ 自由行動 ⇒ 15:00 解散。

内容：(1) 木嶋坐天照御魂神社 (コノマニマスアテルミタマ) (蚕の社)

京都でも最古の神社の一つ。秦氏由来と言われそのため蚕ノ社となった模様。
元糺ノ池（現在涸れ池）も、以前は湧水が豊富であったと。



(三柱鳥居)

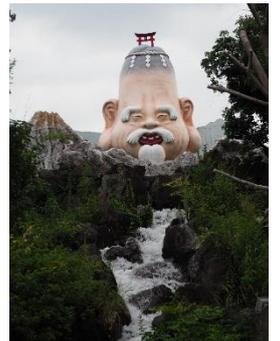
(2) 広隆寺

聖徳太子の意向を受けた秦氏が建立したと言われ山城最古のお寺である。
有名な弥勒菩薩をはじめ十二神将像、十一面千手観音像などの国宝、重文が
多数。多くは霊宝殿に安置されている。



(3) 東映太秦映画村

以前の東映京都撮影所をテーマパーク化したものだが、現在もロケ、スタジオ制作と並んでテレビドラマの制作に活用されている。主として時代劇オープンセット、長屋門、港に模したプールなどが常設されている。当日は10月から放映される水戸黄門（武田鉄矢主演）の撮影が行われていたが、他に遠山の金さん、別の一角で科捜研の女などの現代劇も撮影されている。



境内植物：特に変わったもの無し。大木のカクレミノ（たくさん実をつけ、この時期の葉はグー）、クスノキ、シラカシ、ヒノキ、タカサゴユリ、モミジ、ツバキ、アセビ、ハギ（白花）、イチョウ、キンモクセイ（開花まだ）、ムクゲ、エノキ、菩提樹など。

（カクレミノの名前：本来は悪事を隠す手段の意。葉が密に付いているので、姿が隠せる雨具の蓑に見立てた、また、天狗の持物で宝物を隠す蓑に似ているという説も。）

所感： 午後は雨に見舞われたが、鈴なりの銀杏が黄色く色づき、キンモクセイもほのかに香り、気分的にはいい季節を感じさせる一日でした。広隆寺の弥勒菩薩は相変わらず穏やかな顔でした。ただ霊宝殿は照明が暗く仏像があまりよく見えなかったのが残念でした。

映画村は中学生の団体でお化け屋敷や忍者屋敷は賑わっていた。そら組の多くはスタジオライブ、中村座のショー・大道芸（南京玉すだれ）、散策ツアーなど無料の催しで楽しんでいました。テレビドラマで今日見たセットの使われ方を探してみるのも一興かと。